

2009年度事業報告 (2009年4月～2010年3月)

特定非営利活動法人YMC Aコミュニティサポート

I. 自主事業

1. 事業

1) 「何かやり隊ヤングマンの会」

- ・高校生・大学生を中心に、自らが市民活動の担い手となり、市民活動を同世代に向けて広めることを目的として活動するグループ。
- ・2009年度は、高校生・大学生への政治に対する意識調査アンケートを実施した。その結果を集計し、各高校へ結果報告を行った。また、市長への報告も行った。
- ・のたろんフェア2010にて、ブース出展を行い、よこすか検定クイズの実施やアンケートの集計結果の報告等を行った。

登録メンバー：3人

コーディネートスタッフ：沼崎真奈美

定例会：2009年5月15日(金)、6月13日(金)、7月11日(土)、8月1日(土)
9月12日(土)、10月10日(土)、11月14日(土)、12月23日(水)
2010年1月9日(土)、2月5日(金)

場 所：市民活動サポートセンター

2. 他団体への協力・交流

- 1) HONCHO すかっ子カーニバル実行委員会委員 沼崎真奈美 (2009年4月～2010年3月)
- 2) 横浜YMCAチャリティラン2009実行委員会委員 小澤倫明
(2009年7月～2009年11月)
- 3) 逗子文化プラザ市民交流センター運営検討委員 田邊朋美
(2009年11月～2011年11月)

3. 会議・出張

1) 横浜YMCA新年度式典

日 程：2009年4月1日(水)

場 所：湘南とつかYMCA

主 催：横浜YMCA

参加職員：田邊朋美

2) 神奈川県立高等学校校長会参加

日 程：2009年4月21日(火)

場 所：神奈川県横須賀三浦地域県政総合センター

内 容：・校長会に参加をし、サポセンの周知PRとともに、ヤングマンの活動の説明を行った
・フリーペーパーの説明も行い、各学校へ配布・持参をし、各クラスに設置をしてもらえることとなった。

参加職員：田邊朋美、沼崎真奈美

主 催：神奈川県立高等学校校長会横須賀支部

- 3) ショッピングプラザ18周年記念式典ゲスト
日 程：2009年4月25日（土）
場 所：ショッピングプラザ2階ステージ
参加職員：沼崎真奈美
- 4) 横浜YMCA総会
日 時：2009年5月30日（土）
場 所：湘南とつかYMCA
主 催：横浜YMCA
参加職員：田邊朋美、小澤倫明
- 5) 地域貢献活動・ボランティア活動に係る説明会
日 程：2009年6月5日（金）
場 所：県立総合教育センター
主 催：神奈川県教育委員会
参加職員：沼崎真奈美
- 6) ボランティア・ナビ
日 程：2009年6月27日（土）
場 所：神奈川県民センター
主 催：神奈川県教育委員会
参加職員：沼崎真奈美
- 7) パソコンお助けネットワーク10周年記念式典来賓参加
日 程：2009年9月9日（水）
場 所：ウェルシティプラザ 会議室及びレストラン
参加団体：シニアネット横須賀/16ミリ試写室
参加職員：田邊朋美
- 8) 地域ボランティアエアポート連絡会出席
日 程：2010年3月3日（水）
場 所：神奈川県民活動サポートセンター
内 容：各地域のボランティアエアポートからの活動紹介及び高校生支援の状況説明
参加職員：沼崎真奈美
- 9) 高校生ボランティアセンター活動発表会出席
日 程：2010年3月14日（日）
場 所：神奈川県民活動サポートセンター
参加職員：沼崎真奈美

4. 研修派遣・受け入れ

- 1) 横浜YMCA管理職研修（田邊）
日 程：2009年7月1日（水）
場 所：横浜中央YMCA
主 催：横浜YMCA
参加職員：田邊朋美

- 2) 横浜YMCA全体安全研修参加
日 程：2009年7月1日（水）
場 所：横浜YMCA
主 催：横浜YMCA
参加職員：田邊朋美、小澤倫明
- 3) かながわコミュニティカレッジ「相談・苦情の現場対応力アップ講座」
日 程：2009年8月4日（火）、18日（火）、25日（火）
9月1日（火）、8日（火）、15日（火）、29日（火）
場 所：神奈川県民活動サポートセンター
参加人数：9人
参加職員：小澤倫明、大島理恵子、神山喜久栄、沼崎真奈美、篠原治子、鈴木とし子、大島よし子
早瀬 翼、細田 豊
- 4) 日本YMCA同盟研修受け入れ
日 程：2009年10月14日（火）
受け入れ：11人
内 容：NPO法人YMCAコミュニティサポート活動紹介
対応職員：田邊朋美、小澤倫明
- 5) 第15回インターナショナルチャリティラン
日 程：10月24日（土）
場 所：みなとみらい臨港パーク
参加職員：早瀬 翼
- 6) 横浜YMCA新人研修
日 程：2010年3月1日（月）～4日（木）、8日（月）
場 所：富士山YMCA/横浜中央YMCA
参加職員：小澤倫明・大島理恵子
- 7) 外国人のための生活相談ボランティア研修
日 程：2010年2月27日（土）、3月6日（土）、3月13日（土）
場 所：横浜中央YMCA
主 催：NPO法人かながわすまいサポートセンター/横浜YMCA
参加職員：田邊朋美

5. 講師派遣

- 1) 県立保健福祉大学「市民活動・ボランティア論」講師
日 程：2009年4月9日（木）
場 所：県立保健福祉大学 454教室
主 催：神奈川県立保健福祉大学
対 象：「市民活動・ボランティア論」受講の約110人（内ボランティア申し込み38人）
参加団体：NPO法人横須賀国際交流協会、横須賀市社会福祉協議会ボランティアセンター
県立三浦ふれあいの村（指定管理者：財団法人横浜YMCA）、横須賀YMCA
横須賀市立市民活動サポートセンター（指定管理者：NPO法人YMCAコミュニティサポート）
内 容：さぼせんサポーターズ、何かやり隊ヤングマンの活動紹介及び募集

参加職員：田邊朋美、四分一知佳

2) 神奈川県立保健福祉大学「ボランティア相談会」

日 程：2009年7月16日（木）

場 所：県立保健福祉大学 454教室

主 催：神奈川県立保健福祉大学

対 象：約110人（内ボランティア申込み11人）

参加団体：NPO法人横須賀国際交流協会、横須賀市社会福祉協議会ボランティアセンター
県立三浦ふれあいの村（指定管理者：財団法人横浜YMCA）、横須賀YMCA
横須賀市立市民活動サポートセンター（指定管理者：NPO法人YMCAコミュニティサポート）

内 容：夏の市民活動体験、さぼせんサポーターズ、何かやり隊ヤングマンの活動紹介及び募集

参加職員：田邊朋美、大島理恵子

3) 「第4回高校生公益活動リーダー塾2009」講座講師

日 程：2009年8月14日（金）

場 所：湘南国際村研修センター

主 催：高校生・大学生国際ボランティアグループ

対 象：20人（高校生）

内 容：「国際公益活動理解 事例研究」タイにおけるボランティア活動～子どもと貧困～

講 師：田邊朋美

6. 横浜YMCA、横須賀YMCAとの協働事業

1) 横浜YMCAタイ・パヤオセンターメンバー視察受け入れ

①パヤオセンターメンバー歓迎会

日 程：2009年4月24日（金）

場 所：横須賀YMCAホール

主 催：横須賀YMCA、YMCAコミュニティサポート

内 容：福祉の匠洒落弁会による食事提供、ホンキートンクによるアフリカン太鼓

協力団体：福祉の匠洒落弁会、麦の会、ホンキートンク

②横須賀市立市民活動サポートセンター視察

日 程：2009年4月30日（木）

場 所：市民活動サポートセンター

主 催：横浜YMCA、YMCAコミュニティサポート

内 容：市民活動サポートセンターの活動紹介、津久井の自然を守る会活動紹介

協力団体：津久井の自然を守る会

③神奈川県立横須賀明光高等学校訪問

日 程：2009年4月30日（木）

場 所：神奈川県立横須賀明光高等学校

主 催：横浜YMCA、YMCAコミュニティサポート

内 容：神奈川県立横須賀明光高等学校活動紹介、ボランティア委員との意見交換

茶道部メンバーによる茶道体験

7. 他団体との協働事業

1) たけのこ料理教室

日 程：2009年4月19日（日）

目 的：・2008年市民協働推進セミナーで講師を務めた団体同士が継続し、協力して事業を行うきっかけづくりをする。

・サポートセンターで活動をする市民活動団体同士の交流を深める。

参加団体：食育指導士の会、三浦竹友の会、NPO法人YMCAコミュニティサポート

場 所：坂本コミュニティセンター

内 容：三浦竹友の会の方々からの提供の朝掘りたけのこを使い、たけのこ料理を作り、食事を楽しんだ。調理は「食育指導士の会」のメンバーが担当し、たけのこの提供と食事を盛る器を三浦竹友の会のメンバーが竹を使って作成した。YMCAコミュニティサポートは団体同士の調整連絡や場所の予約等事務局的な役割を担った。

成 果：現代社会における‘食生活の乱れ’の改善に取り組みたいと考える3つの市民活動団体が協力をし、それぞれの得意分野を活かして開催をしたことにより、一つの団体だけでは実現することが難しい内容の講座を開催することができた。また、団体同士の交流も図ることができ、次回は親子を対象とした講座開催をしたいとの声があがっている。

参加職員：田邊朋美

II 委託事業

1. 市民活動サポートセンター指定管理事業

1) 施設管理業務

開館9：00～22：00

清掃業務

- ・日常清掃委託 特定非営利活動法人 横須賀精神保健ふれあいグループうらら
- ・定期清掃委託 株式会社 市川総業

2) 情報収集発信業務

①市民公益活動図書・資料の収集、分類、管理

②市民活動団体データベース管理（421団体）

③サポートセンター通信情報紙「のたろん」編集発行

（4・7月の1日発行）発行部数2700部

④情報広場発行 毎月1日発行 発行部数2500部

⑤FMのたろん通信 毎週水曜日14：00～14：10

FMブルー湘南「FMのたろん通信」にて市民活動情報提供

⑥FM遊びにきませんか 第2～4水曜日15：00～15：30

FMブルー湘南「FM遊びにきませんか」番組プロデュース 出演団体 35団体

⑦のたろんメール配信 毎月5日配信

⑧サポートセンターホームページの維持管理

⑨市民公益活動団体のホームページアップ支援 11件

3) 情報ボランティアによる市民公益活動団体への情報化支援 企画運営

①情報ボランティア団体、登録者コーディネート

- ・情報ボランティア登録団体 4団体 情報ボランティア登録者 32人
- ・情報ボランティアネットワーク会議開催
 - 第1回 日程：9月16日（水）13：30～14：30
場 所：市民活動サポートセンターフレキシブルスペース
参加者 情報ボランティア2団体 31人
内 容 上半期実施報告・会計報告、後期講座確認、次年度運営計画
 - 第2回 日程：2010年3月17日（水）13：30～15：30
場 所：産業交流プラザ
参加者 情報ボランティア2団体 31人
内 容 2009年度実施報告・会計報告、次年度運営計画

②情報ボランティアによる市民公益活動団体向けの支援講座の実施

- ・センター主催講座 30コース 受講者 150人

内訳) ワード初級	7講座	31人	ワード中級	2講座	10人
エクセル初級	8講座	33人	エクセル会計	4講座	14人
デジタル写真	8講座	35人	パソコン入門	4講座	15人
- ・フリープラン講座 123団体（165回 受講者412人）

4) 相談業務

①受付相談業務

市内外の市民公益活動、ボランティア活動に関する各種相談、団体同士のマッチングなどを行った。（23件）

5) 夏の市民活動体験

- ・市民公益活動団体の活動を紹介し、多くの人に参加や体験を通して、市民活動への関心や理解を深める機会を提供する。また、各団体が様々な分野で活動する人と接点を持つ機会を提供する。
- ・参加団体の活動を「市民活動体験イベント情報」にまとめ、公共施設や教育機関に配布。
- ・昨年に引き続き、各団体から他の参加団体へ体験リポーターとしての参加をお願いした。昨年、他団体の活動を知るきっかけはリポーターとしての参加であったが、その後、交流の機会が生まれた等の声上がり、今年は、昨年より積極的に各団体からリポーターの参加があった。

日 程：2009年7月11日（土）～8月31日（月）

参加団体：29団体（計33イベント）

参加者数：1703人

<市民活動レポーター講習会>

日 時：2009年6月27日（土）19：00～21：00

場 所：市民活動サポートセンター

講 師：横須賀経済新聞社 亀崎昌義氏

<夏の市民活動体験報告展示>

市民活動サポートセンタードブ板側入り口にて開催。

期間 9月1日（火）～9月28日（月）

6) 市民活動交流事業

①ショッパーズプラザチャイルドファクトリー

日 程：2009年5月6日（火）

場 所：ショッパーズプラザセンターステージ2階

内 容：市民活動サポートセンター活動紹介、砂絵、割り箸鉄砲

・市民活動団体の活動発表の場の提供

参加団体：地球っ子くらぶ（こいのぼりクラフト）、手作りおもちゃの会（竹とんぼ・風車）
ガールスカウト神奈川34団（写真たて、携帯ストラップ）
横須賀市立市民活動サポートセンター（砂絵）

派遣ボランティア：13人

派遣職員：田邊朋美、四分一知佳

②カレーフェスティバル

日 時：2009年5月9日（土）10日（日）

場 所：ヴェルニー公園

内 容：市民活動サポートセンター活動紹介

派遣ボランティア：4人

派遣職員：田邊朋美、四分一知佳、小澤倫明

③わんぱくフェスティバル2010

日 時：2009年10月24日（土）

場 所：総合福祉会館 6階ホール

内 容：市民活動サポートセンター活動紹介

派遣ボランティア：7人

派遣職員：田邊朋美、小澤倫明、大島理恵子

7) 会議・出張

①市民活動サポートセンター運営委員会

開催日 5月21日（木）、8月19日（木）、11月19日（木）、2月18日（木）
18：30～20：00

指定管理者として出席（館長、嘱託職員2人）。横須賀市の事務局は市民生活課。開催10日前に役員会を開催。

②サポートセンタースタッフミーティング

サポートセンター職員、嘱託職員、時間職員9人 市民生活課担当職員1人

毎月の業務の確認と運営に関する提案、協議等

開催日：毎月第2火、水、木のどれか

③横須賀市市民協働補助金プレゼンテーション

日 時：2010年3月24日（木）

場 所：横須賀市役所

④横須賀市市民協働補助金報告・説明会傍聴（田邊）

日 時：2009年4月16日（木）

場 所：ヴェルクよこすか

8) 研修、視察受け入れ

①横須賀市役所市民生活課インターンシップ研修受入

日 程：2009年8月13日（木）～8月28日（金）

受け入れ：3人

2. 横須賀市立市民活動サポートセンター設立10周年記念事業

1) 市民活動サポートセンター（サポセン）オープンディ

目 的：サポートセンターの存在を多くの市民に知ってもらう機会を提供する。

登録団体同士の交流を図る。

開催時期：7月11日（土）8月1日（土）9月12日（土）10月10日（土）

※10月10日はショッパーズプラザステージでの開催。

内 容：市民活動団体紹介ブースや喫茶コーナーを設け、広く一般の人の来館するきっかけ作りをする。ドブ板バザールと同時開催ができるときは同時開催する。

※通常利用には制限を設け、その旨を事前に利用者に掲示等で周知を図る。

①月ごとに分野を分け、団体の活動紹介・体験の場所を設けた。

②喫茶コーナー

パンや飲み物の販売を行うスペースを設け、サポートセンター関連のチラシなどをおく。各回あまね作業所に団体のアレンジを依頼した。

③市民活動ビンゴ大会の開催（各回50人を予定）

市民活動やサポートセンターに関するワードをビンゴシートに掲載し、ビンゴ大会を行う。時間帯を決めて開催。景品を用意した。

2) 市民活動サポートセンター設立10周年記念展示

目 的：市民活動サポートセンターの10年の歩みを広く一般市民及び利用者に周知する。

展示の中で、設立10周年のお祝いメッセージカードを広く募集をする。

開催時期：2009年10月5日（月）～10月31日（土）

内 容：市民活動サポートセンター設立10周年お祝いメッセージの掲示及び募集

市民活動サポートセンター10年の利用者数推移

市民活動サポートセンター10年の新聞等の広報記事の掲示

市民活動サポートセンター開設オープニング式典の様子の写真の展示

のたろんフェア10年の歩みパネルの展示

3) 市民活動サポートセンター設立10周年記念 クリーン大作戦

目 的：近隣の皆様へ日頃の感謝を込めて、周辺を清掃する。

市民活動サポートセンター及び設立10周年記念フォーラムの周知のために行う

開催時期：10月17日（土） 10：00～12：00

開催場所：ドブ板通り、ベイスクエア周辺

参加ボランティア 35人（ボランティア 33人、スタッフ 2人）

4) 市民活動サポートセンター設立10周年記念フォーラムプレイベント

目 的：市民活動サポートセンター及び10周年記念フォーラムの周知を行う。

開催時期：2009年10月31日（土）

開催場所：市民活動サポートセンター自動ドア前

内 容：食事提供ボランティア・洒落弁会及びボランティアによるカレーとパンの販売
チラシ配布

ドブ板センターステージでの、着ぐるみのたろんによる市民活動サポートセンター
設立10周年の周知

参加ボランティア 13人

5) 市民活動サポートセンター設立10周年記念フォーラム

目 的：10周年のサポートセンターの歩み、横須賀の市民活動の歩みを振り返る。

今後のサポートセンターや市民活動のあり方を考えるきっかけとする。

開催日時：2009年11月1日（日）

開催場所：総合福祉会館及び市民活動サポートセンター

内 容：

【第一部】会場：総合福祉会館 13:00～15:20

(講演会)

- ・「横須賀の市民活動の歩みを振り返る」

講師 横須賀市市民協働審議会 委員長 松岡紀雄氏

(市民活動団体パフォーマンス)

【第二部】会場：総合福祉会館 15:30～17:00

(ワークショップ)

- ・「これからの横須賀の市民活動の歩みを考える」

講師 神奈川県立保健福祉大学 教授 臼井正樹氏

【交流会】会場：横須賀市立市民活動サポートセンター 17:00～18:30

対象：横須賀市市議会議員

市民活動サポートセンターに登録している市民活動団体

横須賀市内外の市民活動団体・一般市民

神奈川県内の各市民活動支援センター関係者

市民活動サポートセンター歴代運営委員

市民活動サポートセンター歴代職員

参加者 191人（職員・ボランティア含む）

※内ワークショップ参加者82人/交流会参加者124人

実行委員 7人

主催 横須賀市

企画・運営 横須賀市立市民活動サポートセンター設立10周年記念フォーラム実行委員会

NPO法人YMCAコミュニティサポート

成果と振り返り：

委員と事務局と7月から準備を進めて来た。これまでの横須賀の市民活動を振り返るだけではなく、これからの市民活動やサポートセンターの意義を考える機会にしたいと考え、内容を決定した。今まで、サポートセンターに関わってきた方々にどれだけ参加してもらえるかが最大の課題であったが、委員や職員の地道な個々への呼びかけが成果を挙げ、多くの方の参加があったことは大変嬉しいことであった。参加者からは、「発足当時からのお話しや、行政の取り組みなどもわかりとても良かった」「改めて市民活動の力を感じました。今後の活動に勇気を頂きました。」などの声が聞かれた。また、参加した市民活動団体からは、会員募集や活動PRに関する課題の声が多く寄せられた。また、サポートセンターへの課題としては、機器の拡充への要望やサポートセンターのPR不足、交流の機会を増やすこと等が主に挙げられた。ワークショップの働きかけ方の課題もあったと思うが、市民活動団体が共にサポートセンターを作り上げていくという姿勢ではなく、「こうしてほしい」という要望が多かったことが残念なことであった。

今後、講演会やワークショップで挙げた声や記念フォーラムを開催して見えてきた課題を元にこれからの市民活動やサポートセンターのあり方を考える事業の展開を考えていきたいと思う。

2. のたろんフェア2010

- 目的
- ・市民公益活動団体に活動紹介と活動資金づくりの場を提供する。
 - ・より多くの市民に市民公益活動への関心を深めてもらう機会を提供し、市民活動を始めるきっかけ作りの場とする。
 - ・10回目ののたろんフェアとして、市民活動サポートセンター利用団体をはじめとする参加団体が協働によりフェアを作り上げ、より活発に交流できる場とする。

- ・社会貢献活動を行う企業の取り組みを紹介し、市民公益活動団体と企業の協働のきっかけづくりの場を提供する。

日 程 2010年2月13日(土) 10:00~16:00
14日(日) 10:00~15:30

場 所 横須賀市立市民活動サポートセンター及びその周辺

主 催 のたろんフェア2010実行委員会・横須賀市

参加者 1) 全体の参加団体数 73団体
2) 2日間の来場者数 4,693人(前年8,642人)
3) 実行委員 14人、運営ボランティア 53人

広 報 1) プレイベント

2月7日(日) 12:00~12:30

場 所 ショッピングプラザ横須賀2Fセンターステージ

内 容 横須賀市民ミュージカルを作る会によるパフォーマンスを交え、実行委員長あいさつ、実行委員・ボランティアによるチラシ配布等フェアPR

2) PR展示

日 程 1月29日(金)~2月5日(金)

場 所 横須賀市立市民活動サポートセンター内展示コーナー

日 程 2月1日(月)~2月5日(金)

場 所 横須賀市役所

日 程 2月6日(土)~2月12日(金)

場 所 ショッピングプラザ横須賀2Fシーウインドモール

3) ポスター・チラシ配布 市内各公共施設・学校・銀行・店舗 その他

4) 広報記事掲載・放送 広報よこすか・情報誌のたろん・情報広場・まなびかんニュース・三浦半島だより その他

5) PR番組放送 FMブルー湘南

収録参加団体 18団体

内容・成果・課題

1) パネル展示(通常展示 44団体 ミニ展示16団体)

団体の活動を紹介するパネル展示を行った。分野別に配置をして、興味のある分野をまとめて見られるようにレイアウトした。

2) フリーマーケット(館内26団体 館外18団体)

活動資金集めを目的とした販売や飲食などの模擬店を行った。初日に雨が降り、館外ブースの運営の判断がよかったのかどうか、雨天、寒さ対策で課題が残った。販売の際に、団体の活動を紹介するチラシを配布するようにした。

3) 募金(33団体)

前回フェアで初めておこなった募金活動の要望を今年も行った。いくつかのルールを定め、募金活動を行えるようにした。

4) スタンプラリー(参加者555人)

来場者に各ブースを回ってもらうための企画。ブースを回ってシールを集め、6枚集まったら景品交換所にて景品と交換してもらう。ブースに足を向けてもらうきっかけとなった。会場内でスタンプラリーを周知する方策を検討し、もっと積極的にPRする必要がある。

5) のたろんステージ(6団体※1団体キャンセル)

初日は雨天のために2階APTのスペースでのステージとなった。寒さのため人出が少なく

集客に課題が残った。2日目のドブ板ステージでのパフォーマンスは、足を止める人も多く、好評だった。

6) 市民活動ミニ体験・映像紹介 (18団体)

参加者が気軽に市民活動を体験できるコーナーを設置した。団体によっては参加者集めに苦勞している団体も見受けられ、会場内での周知の方法、設置場所を検討する必要がある。

7) 会場装飾

恒例の塗り絵の募集を「市民活動17分野キャラクター」としたところ、学童保育の児童・を中心に80を超える応募があった。創意工夫を凝らしたものが多く、会場に彩りを添えた。

8) 市民活動支援のための不用品募集 (希望団体6団体)

センターに集まった不用品を分配する団体を希望団体のみにしたため、6団体への分配となった。質的には向上し、資金集めの一助となった。

9) 写真コンテスト

「フォトショップのたろん」のブースを開き宣伝に努めた結果、コンテストへの応募者が増え、フェアへの関心を深める効果があった。

10) プレ10周年企画 クリーン大作戦 (参加団体16団体 参加者70人)

昨年好評のために今年も実施。参加者の感想はおおむね好評だった。

歩道のみ清掃とすることを徹底し、危険防止のための監視者(車等に対する配慮)を置くなど、安全対策に万全を期した結果、事故もなく無事に終了することが出来た。今後は参加者相互の交流をもう少し図れる工夫をしたい。

11) 名刺交換会

参加団体同士の交流を図るために、時間帯を設定して名刺交換会を開催した。30人を超える参加者があり、団体同士の交流ができたとの声が聞かれた。